

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	施設理念はあるが、理念に沿ったケアの実践が少ない。	理念に沿ったケアの実践を他事業者へ発表できる。	各ユニットごとに理念に沿ったケアの実践を行い、実践内容を法人内の学術大会や他法人との報告会等で発表を行う。	12ヶ月
2	4	運営推進会議はおこなわれているが、施設からの報告中心になっている。	運営推進会議を通じ、相互に問題を相談し、解決に向けた活動を行える関係性を構築する。	運営推進会議において、施設が抱えている問題も共有できるよう、定期の運営推進会議以外にも地域向けの催しの開催等を通じ、相互に相談し合える関係性作りを行う。	12ヶ月
3	33	開設2年が過ぎ、今後利用者の重度化やホームでの看取り希望の増加が予想されるが、研修や介護技術のレベルアップ等、看取りケア実施体制の整備がされていない	職員が重度の利用者や看取り利用者への対応を適宜できる教育体制を整備する。	看取り実施後の職員の声を参考にし、看取りマニュアルの見直しを行い、介護技術のスキルアップに向けた研修計画を立案し、参加及び伝達講習を行う。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。